

# 1 工事検査の基本事項

## ③ ー 工事検査課が出納局にある理由

工事検査通信 No.3

発行：H28年4月20日

出納局 工事検査課



主任、近頃暖かくなってきましたね。

そうだね。  
ゴールデンウィークも近いしね。  
なるべく現場は、休止させなさいよ。  
そうでないと、現場の人が休まれないからね。  
自分は休み取って、現場の人だけ働いているのは、  
ダメだからね。



はい、バッチリ休止します。  
工程表でも見込んでいますから。  
ところで、工事検査課が出納局にある理由を、  
教えて頂くことになっていましたが、今いいですか？

ああいいよ。  
簡単に言うと、チェック機能強化ということで、  
発注機関から分離したんだ。



何かあったんですか？

福島県は、平成18年度から  
入札等制度などの改革を進めてきたんだ。  
その改革の一つとして行ったもの。  
それで、財務規則の273条の3が、出来たんだ。



それじゃ、  
昔は、農林は農林で、  
土木は土木で、検査していたんですか？

そう。  
発注から検査まで、部内で行っていたのよ。  
それを分離して、出納局に一元化したわけ。  
分離して、2つあったら非効率だからね。



全国的にも、そうなんですか？

詳しくは、分からないね。  
前に、誰かに聞いた話だと、  
東北6県では5県が分離していて、  
全国でも3割以上は、  
発注機関から分離しているようだよ。





要は、検査機能を強化する方向なんですね。

まあ、そういうこと。  
でも、工事検査は、最後の最後だろう。  
いい現場を作るのに、一番大事なことは、  
浩二君のような監督員が、しっかり監督して、  
現場代理人さんや主任技術者さんと一緒に、  
工事を進めることなんだ。



確かに、日々の施工が的確でなければ  
良い現場には、なりませんね。  
主任、監督と検査の違いがよく分からないんです。  
監督行為で現場を確かめたところを、  
検査員が同じように確かめるのは、無駄じゃないですか？

いろいろ疑問が出でくるのは良いことだ。  
その話は、次回にしよう。  
俺もきちんと整理しておくから。



\*\*\*\*\*

●本日のポイント

入札等制度改革のなかで、チェック機能強化のため農林水産部と土木部から検査部門を分離し、事務の効率化のため一元化をしました。  
その結果、工事検査課が出納局内に設けられました。

【登場人物の設定】

○福島県出先の某発注機関



: 的丸(ママル) 主任



: 浩二(コジ) 技師